

臨床医のための総合画像診断セミナー3
「領域別 PET-CT/3T-MRI を臨床でとことん使いこなす～腹部～」 開催

8月4日（火曜日）、大分全日空ホテル（大分市高砂町2番48）「紅梅の間」にて、大分大学医学部臨床医学系放射線医学講座様ご協力の下、臨床医のための総合画像診断セミナー3「領域別 PET-CT/3T-MRI を臨床でとことん使いこなす～腹部～」（主催：大分先端画像診断研究会）を開催しました。



このセミナーは、大分県内の臨床医（患者の診療に従事する医師）に画像診断の有用性を広く理解していただくために開催しているセミナーです。これまで第1回は『PET-CT』をテーマに開催し、第2回は『3T-MRI』をテーマに開催しました。

今回の「領域別（腹部）」セミナーには、大分県内の医療機関に勤務する医師、開業医を中心に88名が参加し、盛況のうちに閉会しました。次回も引き続き、領域別の総合画像診断をテーマに、臨床での有用性・症例紹介など、臨床の実践に直結するセミナーを開催する予定です。メディアの方のご参加も受け付けておりますので、よろしくお願ひ申し上げます。第3回セミナー内容の詳細は下記の通りです。

【内容】

座長：森 宣 先生（大分大学医学部 臨床医学系 放射線医学講座 教授）

●挨拶

「大分先端画像診断センターの画像配信システム」
大分先端画像診断センター センター長 友成 健一朗 先生

●症例解説1

「肝臓・消化管」
大分大学医学部臨床医学系放射線医学講座
准教授 松本 俊郎 先生

●症例解説2

「胆嚢・膵臓」
大分大学医学部臨床医学系放射線医学講座
助教 才 道昭 先生

主催：大分先端画像診断研究会
共催：大分先端画像診断センター
後援：大分県医師会
協力：大分大学医学部 臨床医学系 放射線医学講座